



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月13日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6408 URL http://www.oguraclutch.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 河内 正美 (TEL) 0277-54-7101  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	31,109	2.1	1,146	△7.1	1,196	△6.9	958	14.8
2018年3月期第3四半期	30,458	8.1	1,233	57.4	1,284	94.3	834	113.4

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 445百万円(△64.4%) 2018年3月期第3四半期 1,252百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	640.05	—
2018年3月期第3四半期	557.22	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	42,245	17,904	41.5	11,704.60
2018年3月期	42,007	17,638	41.2	11,550.08

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 17,520百万円 2018年3月期 17,291百万円

(注) 1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

2019年3月期(予想) 期末配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	1.3	1,180	△17.0	1,180	△14.1	910	△4.9	607.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	1,553,323株	2018年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	56,396株	2018年3月期	56,244株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	1,497,047株	2018年3月期3Q	1,497,309株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の連結業績予想について)

当社は、2018年6月28日開催の第89回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した2019年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。

・2019年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益  
 通期 60円78銭

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第2四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資が底堅く推移し、企業収益や雇用状況の改善が続く等緩やかな回復基調が続いています。米国では消費の拡大や失業率の低下等により景気回復は継続しましたが、欧州においては堅調さを維持しているものの成長の鈍化がみられました。一方、中国では米中貿易摩擦の影響等により景気の減速傾向が鮮明となり、世界経済全体の先行きには不透明感が増しています。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、31,109百万円と前年同期と比べ651百万円の増加(前年同期比2.1%増)となりました。営業利益は米国の対中関税引き上げの影響等により1,146百万円と前年同期と比べ87百万円の減少(前年同期比7.1%減)、経常利益は1,196百万円と前年同期と比べ88百万円の減少(前年同期比6.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産売却益の計上等により958百万円と前年同期と比べ123百万円の増加(前年同期比14.8%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、対ドル為替レートが前年同期と比べ円高に転じたこと等により米国における売上高は目減りしましたが、中国子会社の受注増等により売上高は増加しました。

その結果、売上高は21,629百万円と前年同期と比べ446百万円の増加(前年同期比2.1%増)となり、セグメント利益は945百万円と前年同期と比べ83百万円の増加(前年同期比9.7%増)となりました。

#### ② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、モーター、昇降・運搬業界向けの販売は減少となりましたが、変・減速機、OA、金属工作、印刷・製本業界向け等の販売は増加となりました。

その結果、売上高は8,656百万円と前年同期と比べ348百万円の増加(前年同期比4.2%増)となり、セグメント利益は201百万円と前年同期と比べ1百万円の増加(前年同期比0.5%増)となりました。

#### ③ その他

その他では、売上高が824百万円と前年同期と比べ143百万円の減少(前年同期比14.8%減)となりました。セグメント利益は80百万円と前年同期と比べ8百万円の減少(前年同期比9.5%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、受取手形及び売掛金の増加等により28,408百万円(前期末比570百万円増)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の減少等により13,836百万円(前期末比332百万円減)となりました。その結果、資産合計は42,245百万円(前期末比237百万円増)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金の増加等により19,562百万円(前期末比716百万円増)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により4,778百万円(前期末比743百万円減)となりました。その結果、負債合計は24,340百万円(前期末比27百万円減)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により17,904百万円(前期末比265百万円増)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2018年5月10日に公表いたしました2019年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,757	6,290
受取手形及び売掛金	11,532	12,114
商品及び製品	3,111	3,148
仕掛品	3,603	3,961
原材料及び貯蔵品	2,231	2,196
その他	830	876
貸倒引当金	△230	△180
流動資産合計	27,837	28,408
固定資産		
有形固定資産	11,174	10,840
無形固定資産		
その他	340	346
無形固定資産合計	340	346
投資その他の資産	2,654	2,649
固定資産合計	14,169	13,836
資産合計	42,007	42,245
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,558	9,061
短期借入金	8,260	8,565
未払法人税等	160	106
賞与引当金	340	93
その他	1,525	1,735
流動負債合計	18,846	19,562
固定負債		
長期借入金	3,878	3,282
繰延税金負債	216	156
役員退職慰労引当金	708	740
退職給付に係る負債	95	105
資産除去債務	16	16
その他	605	477
固定負債合計	5,522	4,778
負債合計	24,368	24,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	12,897	13,676
自己株式	△350	△350
株主資本合計	16,251	17,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	931	531
為替換算調整勘定	65	△107
退職給付に係る調整累計額	43	66
その他の包括利益累計額合計	1,040	491
非支配株主持分	347	383
純資産合計	17,638	17,904
負債純資産合計	42,007	42,245

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	30,458	31,109
売上原価	25,324	26,006
売上総利益	5,133	5,103
販売費及び一般管理費	3,899	3,957
営業利益	1,233	1,146
営業外収益		
受取利息	10	17
受取配当金	31	33
為替差益	78	38
不動産賃貸料	62	59
その他	43	53
営業外収益合計	225	201
営業外費用		
支払利息	113	117
手形売却損	3	3
その他	56	30
営業外費用合計	174	151
経常利益	1,284	1,196
特別利益		
固定資産売却益	—	155
特別利益合計	—	155
特別損失		
減損損失	7	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	1,276	1,351
法人税、住民税及び事業税	311	277
法人税等調整額	100	81
法人税等合計	412	359
四半期純利益	864	991
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	834	958

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	864	991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	350	△399
為替換算調整勘定	△16	△170
退職給付に係る調整額	53	23
その他の包括利益合計	388	△546
四半期包括利益	1,252	445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,233	409
非支配株主に係る四半期包括利益	19	35



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,183	8,307	29,490	967	30,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56	3	60	—	60
計	21,239	8,311	29,551	967	30,518
セグメント利益	861	200	1,061	88	1,150

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,061
「その他」の区分の利益	88
内部取引消去	△12
棚卸資産の調整	93
減価償却費の調整	4
全社費用(注)	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	1,233

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
固定資産の減損損失につきましては、重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,629	8,656	30,285	824	31,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	5	73	—	73
計	21,697	8,661	30,359	824	31,183
セグメント利益	945	201	1,146	80	1,226

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,146
「その他」の区分の利益	80
内部取引消去	24
棚卸資産の調整	△102
減価償却費の調整	0
全社費用(注)	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,146

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。